

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	工業課	事業No.	220
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		1	若者が帰ってこられる産業をつくる	
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
			長野県航空機産業振興ビジョン		
法令・例規等					
事業目的		対象	成長産業（航空機分野等）や高度化・高付加価値化に取り組む意欲のある企業		
		意図	成長性の高い産業分野（航空機分野等）の集積化を図ることで、既存企業の基盤強化と外部からの企業の誘致・誘導により雇用を促進する		

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
		航空機分野では、コロナ禍で営業活動が制限を受け受注件数も約4割減少となりましたが、航空機分野のネットワークを活かして、感染症対策としてバスの座席シールドが開発され地元バス会社に採用されました。また、需要回復期に向けてサプライチェーンの体制強化としてデジタルツールを用いて管理システムの構築を支援しました。航空機環境評価試験シンポジウムもWEB開催し、例年より多くの企業に聴講いただき国内へ広くPRしました。健康医療分野では、飯田女子短大と連携しルミナコイド（食物繊維）研究会の活動を支援し商品の実証試験やお菓子の試作開発支援や感染症対策製品の開発・販売支援に取り組みました。	新産業クラスター事業負担金			8,565				
		航空宇宙産業クラスター拠点工場借地料			4,869					
		その他の経費			0					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	航空宇宙プロジェクト参加企業数	社	45	37	38	38	38	49	38	49
	エアロスペース飯田共同受注件数	件	230	1,573	230	1,167	1,600	14,911	1,600	9,488
	飯田メディカルバイオクラスター参加企業数	社	55	55	55	55	55	55	55	60
	南信州食品産業協議会参加企業数	社	116	115	99	99	114	90	114	88
	航空機環境評価試験シンポジウム参加者数	人							100	179
2年度決算(千円)	予算額		18,593		特定財源内訳及び補足事項					
	決算額		13,434		(そ) ふるさと寄附金 4,256千円					
	財源の状況	国庫支出金	0		(そ) 諸収入（航空宇宙産業クラスター拠点工場用地貸付料） 4,869千円					
		県支出金	0							
		地方債	0							
		その他	9,125							
一般財源		4,309								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	10	29	18,593	13,434	新産業クラスター事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		航空機分野においては、コロナの影響により世界の航空機需要が落ち込む中で受注が減少しています。需要回復の遅れが懸念されており、需要低迷期を乗り越えるための支援策を国や県と連携して取り組んでいく必要があります。コロナの長期化により産業構造自体が変化することが考えられ、事業者も従来どおりの経営環境から新たな発想でのビジネス展開が求められており、様々な角度からの情報収集や各産業（工業・農林業・観光等）分野の連携・横断的な取り組みが必要です。							
上記の課題解決のための有効策		長野県航空機産業ビジョンの改定に伴い打ち出された当面の方針と連動し、エス・バードの「航空機統括拠点」と「工業技術試験研究所」の体制強化と航空機産業で培った技術力・品質保証力を活かして、産業分野を拡大して受注、技術・製品の研究開発の促進を支援します。							
次年度に向けての取り組み		コロナ禍において、産業センターに配置する専門人材や外部のネットワークを活用し、新分野（環境・エネルギー、福祉・医療等）への参入や、省力化・生産性向上に向けたIoT、AI、ロボット化による事業体制を強化する企業を幅広く支援します。							